

終了報告書

暮らしの包装商品展 2025

2025年10月3日(金)・4日(土)2日間

イオンレイクタウン 【イオンレイクタウン kaze 光の広場】
埼玉県越谷市レイクタウン 4-2-2



<https://www.jpi-expo.jp/>

包装でみんなの生活を豊かに!
～これから包装ができること～

主催：公益社団法人日本包装技術協会 後援：経済産業省

はじめに

公益社団法人日本包装技術協会が主催する「暮らしの包装商品展2025」は、10月3日(金)~10月4日(土)の2日間、埼玉県越谷市の「イオンレイクタウン kaze 光の広場」にて開催しました。

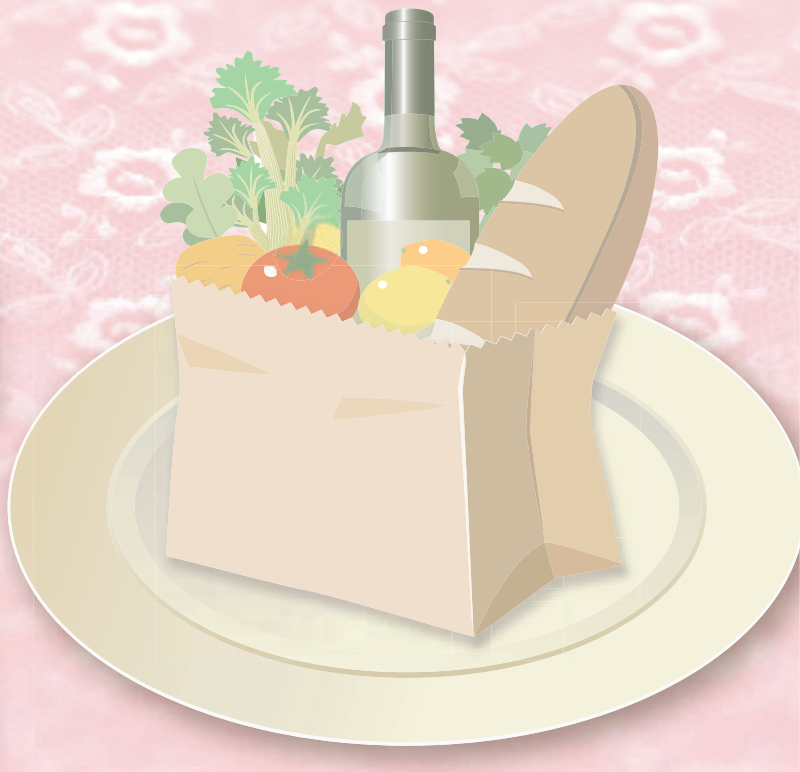
「イオンレイクタウン」は首都圏広域から多くの来場者が訪れ、日本最大の広さを誇る商業施設で、本展のターゲットである一般生活者の来場がより多く見込まれる立地であることから、前回(2023年)開催した東京丸の内の「KITTE」から場所を移し、今回の会場として選定しました。

今回は、8社・団体(当協会を含む)によるブース展示を行いました。各ブースでは、生活者が日常的に使用している包装が果たす役割や重要性、使いやすさ(ユーザビリティ)、環境配慮、鮮度保持といった観点から、「包装でみんなの生活を豊かに!」をコンセプトに、包装商品の機能や工夫を楽しく、わかりやすく紹介しました。

また、出展社・来場者双方が包装について理解を深めることを目的としたスタンプラリーも実施し、多くの来場者にご参加いただき、大変好評を博しました。

さらに同会場内では、日本パッケージングコンテストの入賞作品を一堂に展示する「2025グッドパッケージング展」、ならびに包装の研究開発・改善合理化・新規創出の分野で顕著な業績をあげた作品を表彰する「第49回木下賞受賞作品展」も同時開催し、幅広く包装の可能性を紹介しました。

以下より、本展の概況をご報告します。

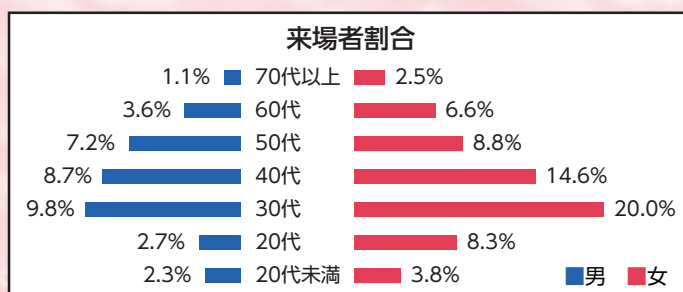


開催要領

- 名 称**：暮らしの包装商品展2025
会 期：2025年10月3日(金)～10月4日(土)
開場時間：11:00～17:00
会 場：イオンレイクタウン kaze 光の広場
コンセプト：包装でみんなの生活を豊かに！～これから包装ができること～
目 的：国民生活の中における包装の役割及び最新の包装技術の動向と企業の取り組み、並びに循環型社会の構築に向けての消費者と包装業界の役割等について、広く一般に啓発することを目的とする。
入 場：一般公開 入場無料
併催企画：2025グッドパッケージング展、第49回木下賞受賞作品展、スタンプラリー
主 催：公益社団法人日本包装技術協会
後 援：経済産業省

来場者数

日 付	天 候	来場者数
10月3日(金)	曇	3,681名
10月4日(土)	雨	5,823名
		計 9,504名



出展社リスト

順不同・法人格省略

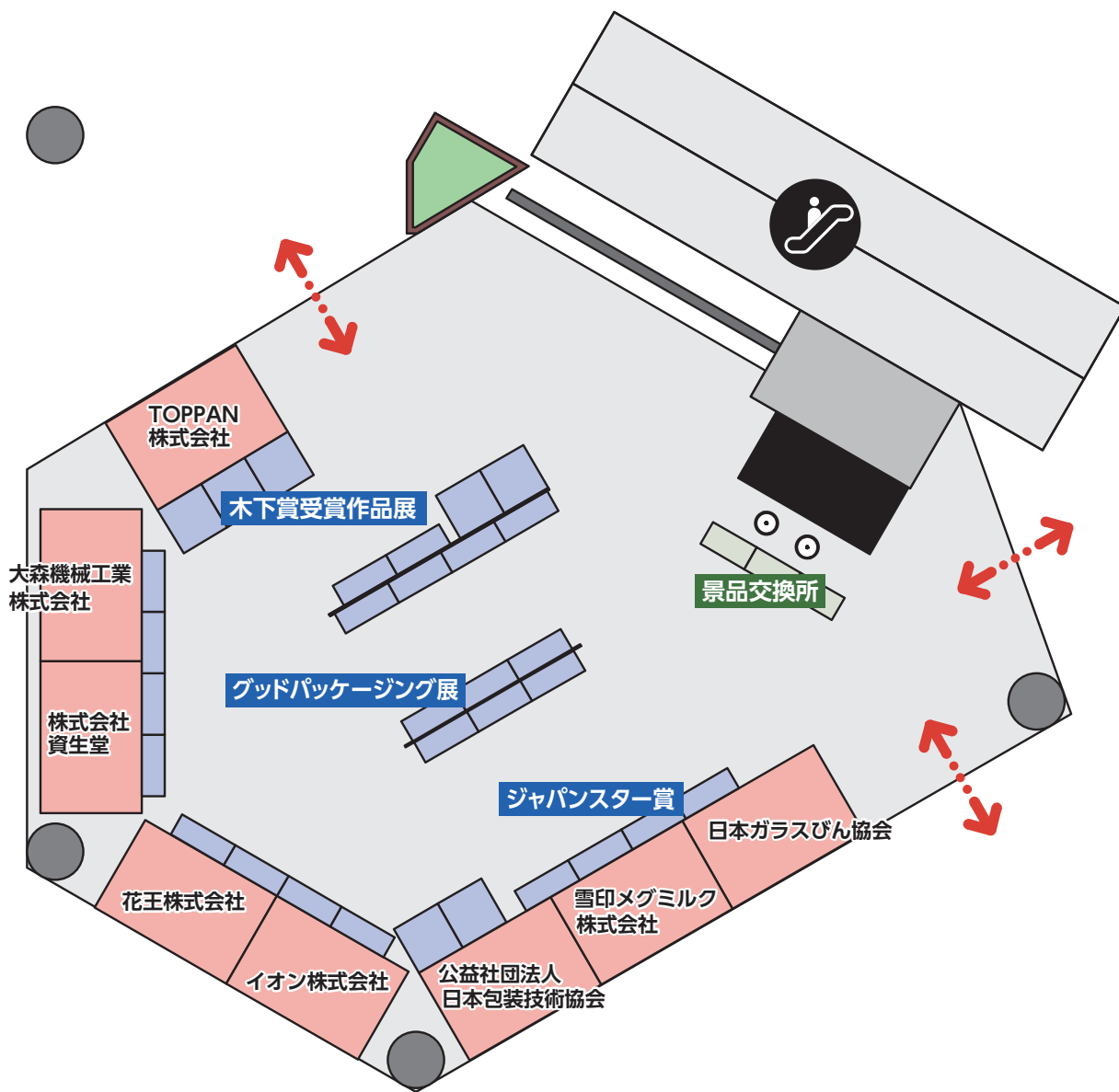
イオン株式会社
大森機械工業株式会社
花王株式会社
株式会社資生堂
TOPPAN株式会社
日本ガラスびん協会
雪印メグミルク株式会社
公益社団法人日本包装技術協会

過去出展社数・来場者数

開催年	2017年	2019年	2021年	2023年	2025年
出展社数 (共同出展者を含む)	10	16	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から企業ブースの展示は実施しませんでした。	15	8
来場者数 (総計)	9,543	9,601	2,948	6,586	9,504
来場者数 (日単位)	4,772 (会期2日間)	4,801 (会期2日間)	1,474 (会期2日間)	3,293 (会期2日間)	4,752 (会期2日間)
会 場	KITTE	KITTE	KITTE	KITTE	イオンレイクタウン kaze

会場マップ

■イオンレイクタウン kaze 1F 光の広場



併催行事・企画

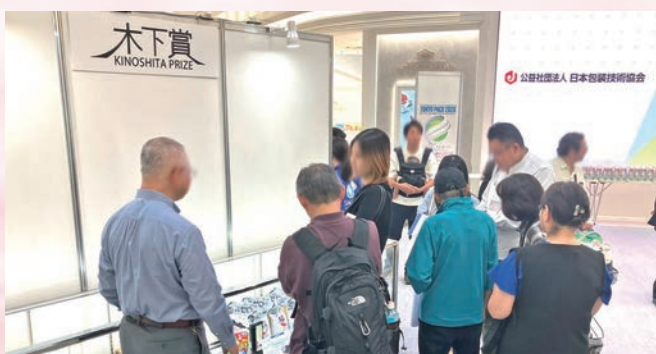


2025グッドパッケージング展

日本包装技術協会が主催で毎年開催している日本パッケージングコンテストの2025年入賞作品、計100点以上のパッケージを一堂に展示しました。すべての作品には、受賞者名・受賞作品名とその特徴が記された説明プレートを配置し、個々のパッケージの優れている点分かるように展示されており、多くの一般生活者の方も身近な製品からみる包装の驚きの機能やひみつについて、高い関心を持ってご覧いただきました。

第49回木下賞受賞作品展

日本包装技術協会が主催する第49回木下賞の入賞作品7点を展示しました。木下賞は、当協会第2代会長・故木下又三郎氏の包装界における多大な功績を記念して創設された顕彰制度で、包装の研究・開発、改善・合理化、新分野の創出などにおいて顕著な業績を挙げた成果や活動を毎年表彰しています。興味深く一般生活者の方から業界関係者まで幅広い来場者にご覧いただきました。



スタンプラリー

全出展社を巡るスタンプラリーを開催し、幅広い層の来場者にご参加いただきました。各ブースにてスマートフォン等の端末で、二次元コードを読み込んでスタンプを獲得していただき、参加された方の多くは、各出展社が展示する包装商品を手にとって体験するなど、企業と生活者がコミュニケーションを取りながらスタンプラリーを楽しんでいただきました。



また、スタンプラリーに参加された方に景品をプレゼントしました。本趣旨にご理解賜り多くの景品をご協賛いただいた各社に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

■スタンプラリー景品協賛会社（五十音順・敬称略）

- | | | | |
|------------|----------------|----------------|-------------|
| ・イオン(株) | ・キッコーマン | ・TOPPAN(株) | ・(株)Mizkan |
| ・大倉工業(株) | ・ビジネスサービス(株) | ・日清オイリオグループ(株) | ・(株)明治 |
| ・大森機械工業(株) | ・(株)久原本家グループ本社 | ・(株)ニッポン | ・雪印メグミルク(株) |
| ・(株)オパス | ・(株)資生堂 | ・日本化工機材(株) | ・ライオン(株) |
| ・オハヨー乳業(株) | ・スーパーバッグ(株) | ・日本ガラスびん協会 | |
| ・カゴメ(株) | ・セッツカートン(株) | ・(株)日本デキシー | |
| ・川上産業(株) | ・タナカ印刷(株) | ・福助工業(株) | |

出展社情報

■イオン株式会社

イオンは、お客さまのお買物体験を通じた日々の暮らしそのものが、自然とサステナブルに切り替わっていく社会を目指しています。

イオンのプライベートブランド「トップバリュ」は環境に配慮した商品で「ひとに、地球に、幸せな未来」を届けます。

今回は、包材のプラスチックをリサイクル素材や紙に置き換えた商品、また、リサイクル分別しやすい商品などを紹介しました。



■大森機械工業株式会社

「包装」を通じて世界中の皆様の生活に貢献し続ける。

その想いを胸に、当社は1948年の創業以来、常に時代と共に「挑戦」を続けながら、お客様の御要望を実現してまいりました。日本の食文化や生活様式の移り変わりの様々な節目に立ち合い、お客様の「夢」を形にし続け、創業から75年を越えました。食品、医薬品、雑貨を中心とする、様々な業界に適した包装機械を手掛けていくことで、より多くの人々が豊かで安心できる生活の創造に貢献していきます。



■花王株式会社

容器包装は、運搬時における中身の保護や品質の保持、使用時のさまざまな情報提供など中身を使い切るまでは製品の一部としての重要な役割・機能を担っています。花王は、こうした容器包装の役割・機能を実現するためにいろいろな技術と知恵を結集して、より多くのお客さまに使いやすく、接しやすく、安心して使える製品をお届けするための努力を行っています。ブースでは、花王の泡製品を実際に触っていただき、用途に応じた“泡吐出容器”の使い勝手や吐き出された泡の違いを実感していただきました。



■株式会社資生堂

資生堂はプレミアム・サステナビリティという方針のもとで、外観の美しさや使いやすさだけでなく、環境へも配慮した化粧品容器をお客様に提供しています。詰め替えや付け替えができるレフィルを多くの製品で配置して、廃棄プラスチックを最小限にすることに加えて、キラキラとした外観の容器や使いやすい容器など、お客さまのスキンケア、メーキャップ習慣を上質なものにすることを目指しています。

またリサイクルされた材料も積極的に使用することに加えて、使用済み容器のプラスチックの資源循環を目指すBeauRingによって、サステナビリティ社会へ貢献していきます。



出展社情報

■TOPPAN株式会社

TOPPANはサステナブル=持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮したパッケージやリサイクル関連技術の開発や提案を進めています。今回のTOPPANブースは「カートカン®の森」をテーマとした体験型の展示となっています。間伐材を含む国産木材を30%以上使用した紙製飲料缶「カートカン®」を題材として、環境問題などを楽しく学べるクイズラリーや、実際の採用事例、使用後の「カートカン®」で作成した作品を紹介しました。また、フォトブース用のパネルもご用意しており、思い出に残る写真撮影をお楽しみいただきました。



■日本ガラスびん協会

私たち、日本ガラスびん協会は、包装容器としての「ガラスびんの良さ」を広く消費者の皆様知っていただくことを目的に出展いたしました。

かつては生活に寄り添う存在であったガラスびんも、利便性と効率を優先する社会構造や、他素材容器の台頭、人口減少の影響により、日常で見かける機会が減っています。

本展では、ガラスびんの素材特性や環境優位性、3R特性(リデュース・リユース・リサイクル)、さらに「(自主認定)ガラスびんリサイクルマーク」のご紹介などを通じて、ガラスびんが「リサイクルすれば何度でもよみがえる、地球にも優しいサステナブルな容器」であることを強くアピールしました。



■雪印メグミルク株式会社

雪印メグミルクグループは創業100周年を迎えました。酪農乳業を通じて「安定的で、豊かな食生活を実現する」という創業当時の社会課題解決に向けた想いを「健土健民」という言葉に込めて事業を始めました。

乳を起点としたさまざまな製品を安全で安心な状態でお客様へお届けするため、当社には容器包装を専門的に設計する部署があります。もちろん主役は中身ですが、おいしさ・使いやすさ・環境へのやさしさをポリシーとして容器包装の開発に取り組んでいます。本展示会では、普段皆さんが目にする商品の容器包装について、知っているようで知らない驚きの機能をご紹介します。



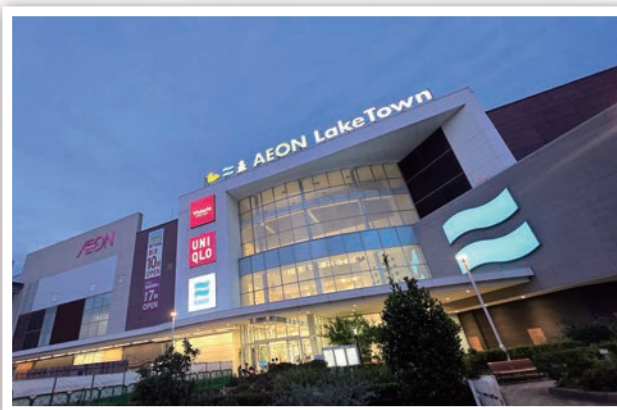
■公益社団法人日本包装技術協会

「包装」は、私たちの豊かな暮らしを身近なところからサポートしています。暮らしの包装商品展2025では、暮らしの中で何気なく使用している包装がいかに重要で、どんな役割を果たしているのかを生活者の方に楽しくわかりやすく理解を深めていただくことを目的に開催しました。

出展社による展示ゾーンのほか、本年度の我が国最高水準のパッケージが一堂に集うグッドパッケージング展・木下賞受賞作品展も開催しました。また、各出展社ブースに設置された二次元コードをスマートフォン等で読み取る「スタンプリア」に参加された方に景品をプレゼントしました。



会場風景



プロモーション活動

1.公式ウェブサイト

2024年12月より公式ウェブサイトをオープンし、出展募集のみならず、出展社情報の公開や併催行事企画の案内を掲載し、来場者の誘致に努めました。

2.メールマガジン

当協会主催展示会「TOKYO PACK」来場者やJPIメールマガジン登録者(約8万名)に対し、会期直前を含め、複数回にわたって本展への来場案内を掲載したメールマガジンを配信しました。

3.メディアへの宣伝広告

会場である越谷イオンレイクタウンkazeの公式ホームページにて、本展の紹介記事を掲載いただきました。



4.レイクタウンAct Green ECO WEEK 2025との相互プロモーション

越谷レイクタウン全域で開催される、市民・企業・行政参加型の環境イベント「レイクタウン Act Green ECO WEEK 2025」と連携し、双方の媒体にて来場案内を実施いたしました。